
俯瞰の景色

奈瀬きなこ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俯瞰の景色

【Nコード】

N4821K

【作者名】

奈瀬きなこ

【あらすじ】

飛び降り自殺。少女は、飛び降り自殺は”飛行”だと言った。なんでもない、奇妙な作品。

六階建ての、この学校の屋上から見る俯瞰の景色は、素晴らしいものだった。

まさに芸術。世界から乖離したような錯覚を与える景色だ。

私は、鉄柵を越えて、もっと、もっと間近で見ようと、鉄柵に足を掛ける。

「奈瀬さん、死ぬ気なのかい？」

不意に、背後から私の名前を呼ばれた。

後ろを振り向くと、強引に肩を後ろに引っ張られ、私は地に落ちる。

地面に落ちると、左腕に衝撃が走って、私は「痛っ！」と叫んでしまった。

叫んだものの、痛みを抑えながら、ぎこちなく立ち上がる。

苦渋の表情を浮かべながら、奈瀬或奈こと私は、私の”飛行計画”を邪魔した少年を睨んだ。

少年は、フ、と微笑して、鉄柵から景色を眺める。

私に視線は移さず、淡々と言葉を紡いだ。

「君。ここから落ちたら、死ぬのは理解出来てる？」

至極単純な事実。普通の人間ならば、ここから落ちれば死ぬだろう。私も含めて。私は人間じゃないから、みたいな漫画染みてることは言わない。

あの俯瞰風景を見ると、正気が失せた。

そう少年に告げ、少年は考える人のように、右肘をついて沈思した。

「なるほどね、確かに俯瞰の景色は妖しい程に素晴らしい」
「高い場所から見える世界は、地面に立つ人間の視界より広い。それ故に、ここから見える景色が信じられなくなるんだね。本当にこんなに綺麗なのか、と」

そして、自身の眼球から見える視界の正否を確かめようと、地面に近づいて、世界を確認する。
それが彼の、飛び降り自殺に対する見解だった。

私は、違う。と彼の意見を否定した。
違う。と告げて、さっさと鉄柵に足を掛け、越える。
鉄柵の先には、三十センチもない幅の足場しかなく、彼とは、見つめ合う形となった。
意外と端正な顔つきをしている。

「全然違うよ」

「私達”飛行者”が落ちるのは、紛れも無く、”飛びたいから”」
私の真剣な眼差しが効果を発揮したのか、彼は焦ったように目を回している。

そして、私は右足を後ろにずらして、背後に体重を掛けた。

「え……」

彼の、呆けた声と共に、私の身体が浮遊する。
正確に言えば、地面に近づく。落ちる。

翌日、私が所属するクラスに存在する、私の机に、花が入れてある花瓶が置かれることになった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4821k/>

俯瞰の景色

2010年12月30日19時04分発行